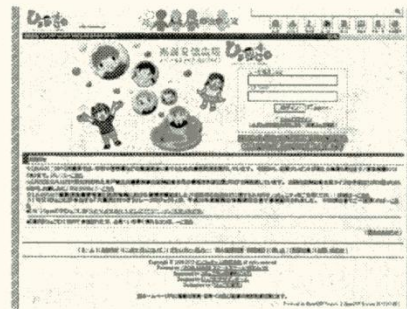




〈10〉

地域交流サイト「ひよこむ」

いのゆりかご空間だとい  
う。大規模災害では発災時  
はもちろん、被災後の生活  
でも、ご近所とのつながり  
の有無が時には生死をも左  
右する。  
会員同士であれば、普段



ぐり石とは石垣を支える  
小さな石。小さいけれど、  
ぐり石なくして城は築けな  
い。平山彰さん(66)が主  
宰する市民グループ「ハー  
トランドぐり石ネット」(兵  
庫県加古川市)は、インタ  
ーネット交流サイト(SN

## 阪神・淡路大震災の教訓生かす

### 地域交流サイトで人の輪を

S)「ひよこむ」と協力し、  
阪神・淡路大震災の教訓を  
生かすため防災・減災の要  
となる「地域の良い人間関  
係」を育てている。

会員約6500人の「ひ  
よこむ」は、会員の紹介が  
は「ひよこむ」は支え合

はあまり親しくしていない  
近所の人とも、ブログを通  
じて考え方や人となり、  
「心」がある程度分かる。  
「心」がある程度分かる。  
電脳空間を通じてお互いの  
顔が見え、信頼関係が生ま  
れれば、育児や介護で困っ  
たときにも、「ちよつと助  
けて」と発信もできるのだ。  
「地域には、ものすごい

人がたくさんいて、地域貢  
献したい気持ちがいっぱい  
あつても、活躍できる舞  
台がないんですわ」という平  
山さんたちは「ひよこむ」  
を活用して「こんなこと  
できる」と「こんなこと  
してほしい」と人をつない  
でいく。

「高齢者は、知識や経験



「ハートランドぐり石ネット」を主宰する平山彰さん(中央)と地域SNS「ひよこむ」の管理人和崎宏さん(前列左)ら一兵庫県高砂市

の塊です。子供たちにプロ  
の仕事というのはどうい  
うのかを教える『夢の種』  
は大好評です。ボランティア  
ア団体同士の情報交換の  
「ボランティア井戸端会議」  
研究会事務局長・近藤則子